

# 九会地区まちづくり計画

安心して暮らせる 元気いっぱい輝くふるさと  
～九会の歴史と伝統の継承を目指して～

平成28年8月

九会地区ふるさと創造会議



# 目次

はじめに.....	1
1. まちづくり計画の位置づけ.....	1
1) まちづくり計画とは.....	1
2) 九会地区ふるさと創造会議の役割.....	1
3) 計画の構成.....	1
第1章 九会地区の現況と課題.....	2
1. 九会地区の現況.....	2
1) 位置.....	2
2) 地勢.....	3
3) 人口・世帯.....	3
4) 交通.....	3
5) 地域資源.....	5
2. 地区住民のまちづくりに対する意向.....	5
1) アンケート調査.....	6
2) 円卓会議（H27.12.16）.....	8
3. 上位・関連計画.....	11
1) 第5次加西市総合計画（H23.10 策定）.....	11
2) 加西市地域創生戦略(H27.10 策定).....	11
3) 第3次加西市国土利用計画(H24.3 策定).....	12
4) 加西市都市計画マスタープラン(H24.3 策定).....	12
4. まちづくりの課題.....	14
1) 安全・安心な生活環境の創出.....	14
2) 地域資源の保全と有効活用.....	14
3) 農業環境の改善.....	15
4) まちづくりに対する住民の関心と参加意欲の向上.....	15
第2章 九会地区が目指す将来像.....	16
1. まちづくりのテーマと基本方針.....	16
1) まちづくりのテーマ.....	16
2) まちづくりの基本方針.....	17
第3章 これから進める主な活動.....	18
1. 各分野別の主な活動.....	18
1) 生活環境.....	18
2) 福祉・子育て.....	19
3) 歴史・文化振興.....	20
4) 自然環境.....	20
5) 農業振興.....	21
第4章 今後のまちづくり.....	22
1. 今後のまちづくり.....	22
2. まちづくり計画の見直しについて.....	22



# はじめに

## 1. まちづくり計画の位置づけ

### 1) まちづくり計画とは

まちづくり計画とは、九会地区の課題を踏まえながら、将来のあるべき姿を描き、それを実現するためのまちづくりの方向性、活動内容をまとめたものです。

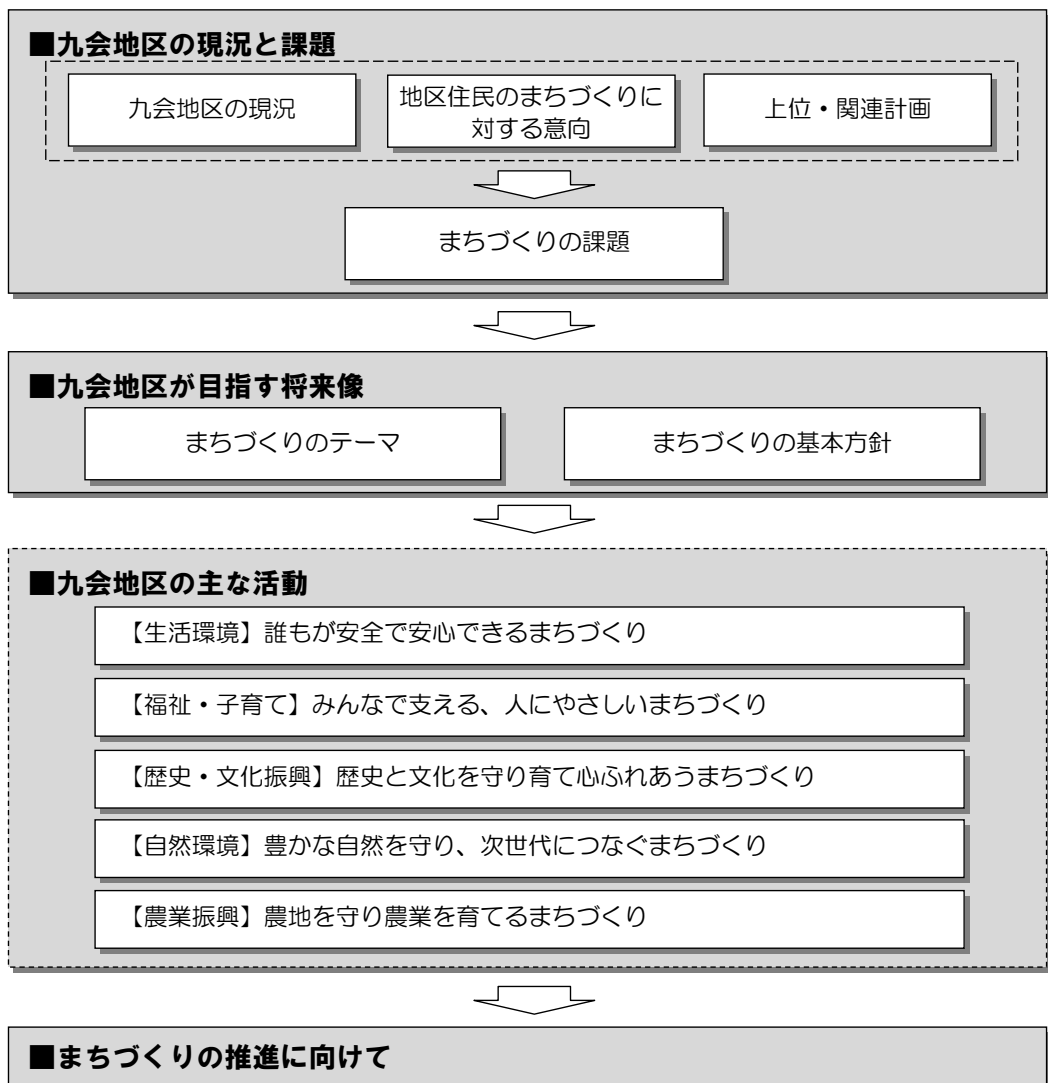
まちづくり計画を作成することで、地区の将来像が地区住民と共有でき、地区活動への参加意欲の向上、取組における各人の役割・関係の明確化、取組の効率化も図ることができます。

また、このまちづくり計画は、加西市ふるさと創造条例 第7条の「地域の将来ビジョン」に位置付けられます。

### 2) 九会地区ふるさと創造会議の役割

九会地区ふるさと創造会議の役割は、地区内の 15 町の各町単独ではできない事業や既存団体の活動を伸ばす事業を行い、地区の課題解決、魅力向上に努める役割があります。

### 3) 計画の構成



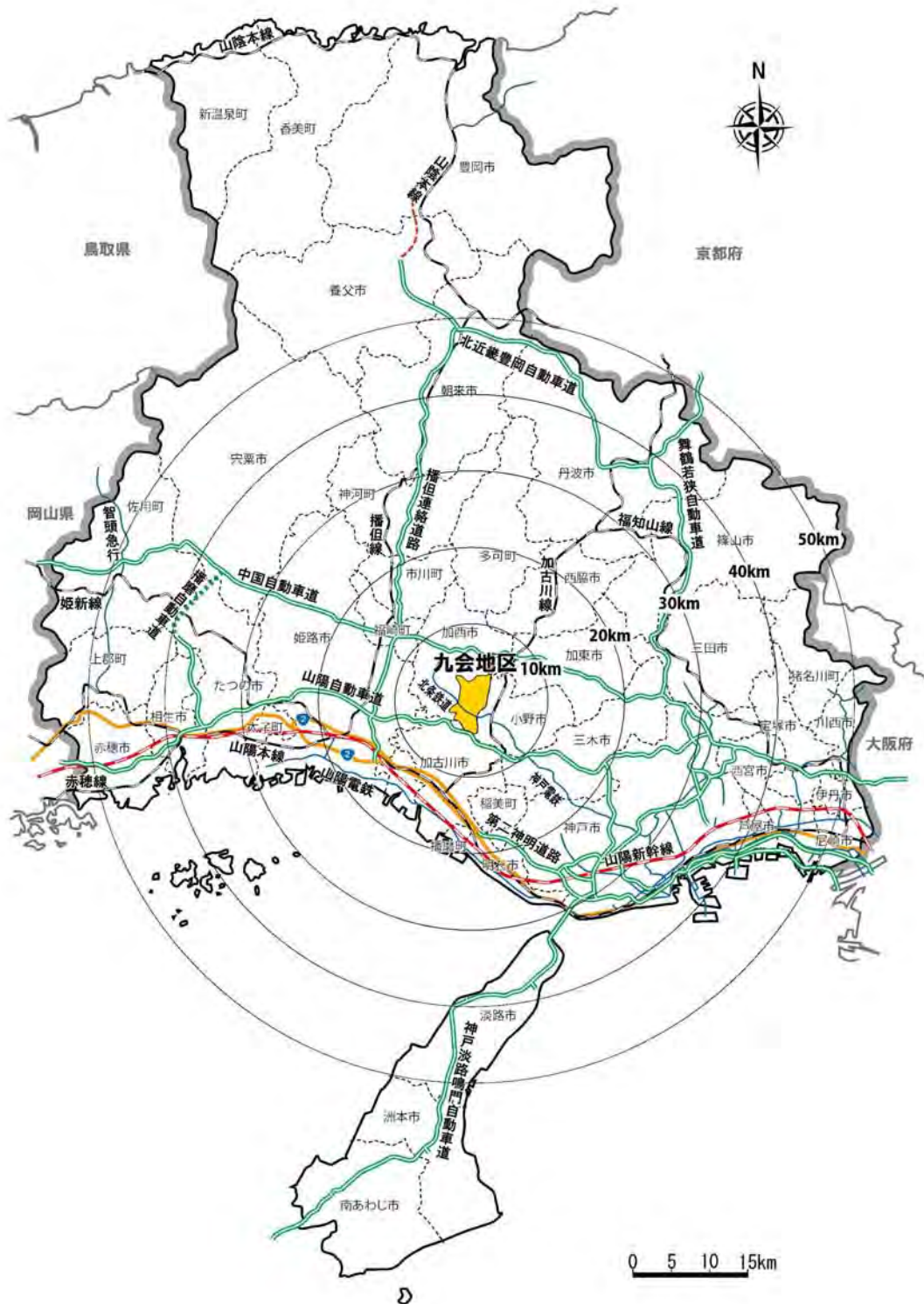
# 第1章 九会地区の現況と課題

## 1. 九会地区の現況

### 1) 位置

九会地区は、兵庫県の南部、加西市の中では南東部にあり、播州平野のほぼ中央に位置するとともに、中国自動車道や山陽自動車道の間に位置し、大阪から車で約1時間の立地条件にあります。

#### ■位置図



## 2) 地勢

九会地区は、平野部が広がっており、加西市では一番農地が多い地域です。数多くのため池があり、国道や県道などの幹線道路沿道にかけて多くの集落が形成されています。

また、地区の南部には、兵庫県最大規模の湿原である「あびき湿原」が存在するなど貴重な自然環境を有しています。

## 3) 人口・世帯

九会地区の人口は、6,602人、世帯数は2,406世帯となっており、1世帯あたりの平均世帯人員は、2.74人となっています。

町別で見ると、人口・世帯数は、田原町が最も多く、人口密度では、中野町が最も高い状況です。

### ■地区別の人口・世帯数

町別	面積 (km <sup>2</sup> )	世帯数	人口			人口密度 (1km <sup>2</sup> 当り)
			男	女	計	
中野町	1.71	306	412	455	867	507
田原町	4.02	365	492	561	1,053	262
網引町	4.83	232	313	348	661	163
南網引町		43	66	58	124	
栄町	1.10	59	98	101	199	181
桑原田町	1.57	123	165	179	344	354
繁陽町		73	112	99	211	
繁昌町	6.93	312	418	390	808	181
繁昌団地自治会		153	230	217	447	
上宮木町	0.78	90	129	103	232	299
下宮木村町	0.77	42	50	65	115	478
下宮木町		101	129	125	254	
鶉野上町	3.63	164	219	237	456	354
鶉野南町		151	210	229	439	
鶉野中町		192	211	181	392	
九会地区	25.34	2,406	3,254	3,348	6,602	261

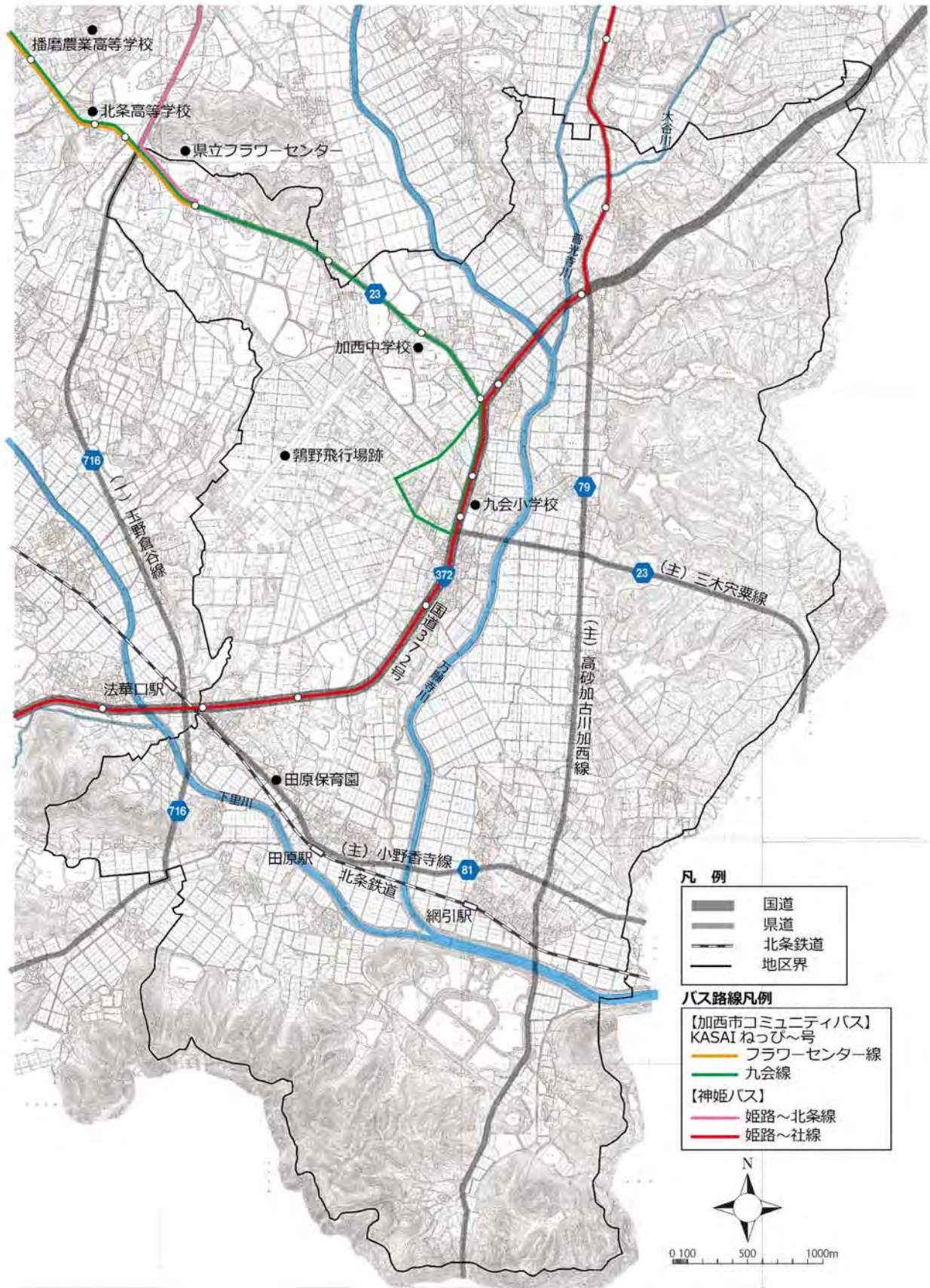
資料：平成26年度加西市統計書（H26.3.31現在）

## 4) 交通

九会地区内には、国道372号、県道79号、県道81号などの幹線道路が走り、地域内で合流しています。

公共交通としては、地区の南部を東西に北条鉄道北条線が走り、網引駅、田原駅が地区内に位置しています。また、地区内を路線バスと加西市コミュニティバス「KASAI ねっぴ〜号 九会線」が走っています。

■交通関連図





## 5) 地域資源

九会地区内には、第2次世界大戦時の鶴野飛行場跡、防空壕跡などの歴史的遺産や兵庫県最大規模の湿地である「あびき湿原」などの自然環境など特徴的な地域資源を数多く有しています。

### ■地域資源分布図



資料：九会地区散策ええとこマップ

## 2. 地区住民のまちづくりに対する意向

### 1) アンケート調査

ここでは、今後の九会地区のまちづくりに向け、地区住民の意向把握を目的とした九会地区のまちづくりアンケート調査結果の概要を整理します。

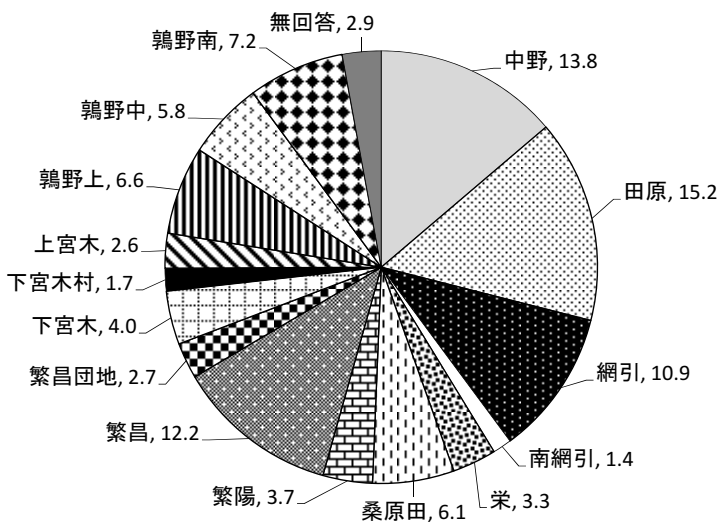
#### (1) アンケート調査の概要

◇対象 : 九会地区 (15 地域)      ◇配布・回収方法 : 各地域の区長さんによる配布・回収  
 ◇調査期間 : 平成 27 年 8 月      ◇回収部数 : 2441 部  
 ◇調査項目 : 38 項目

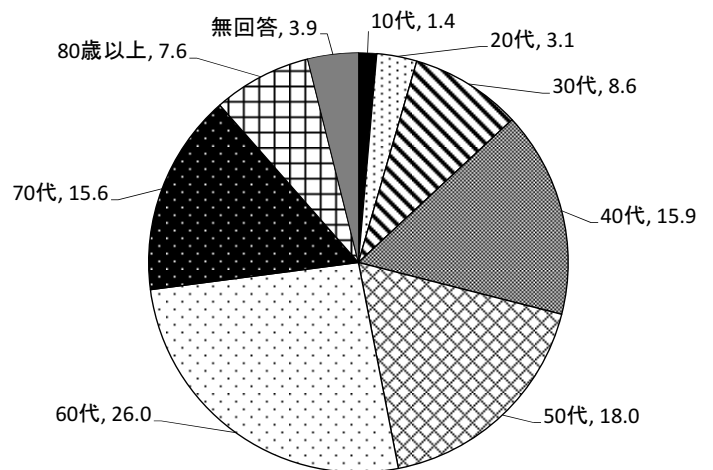
(回答者自身について、生活環境、自然環境、あびき湿原、農業、結婚・子育て、高齢者、地域づくり、ふるさと創造会議活動)

#### (2) 回答者の属性

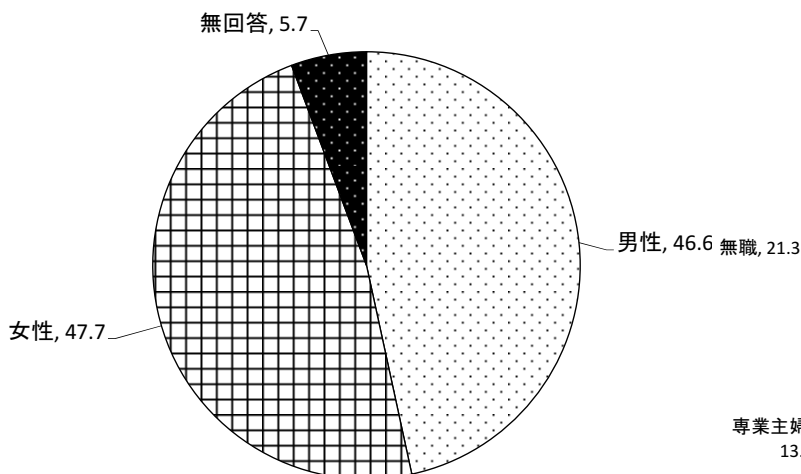
##### ①居住地区



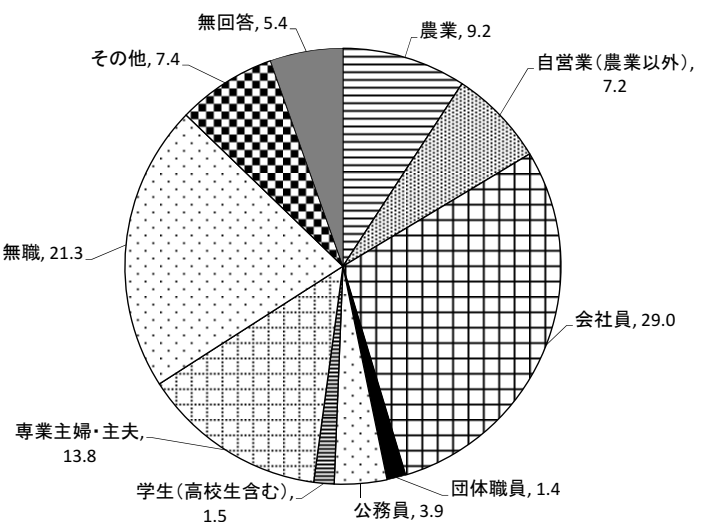
##### ②年齢



##### ③性別



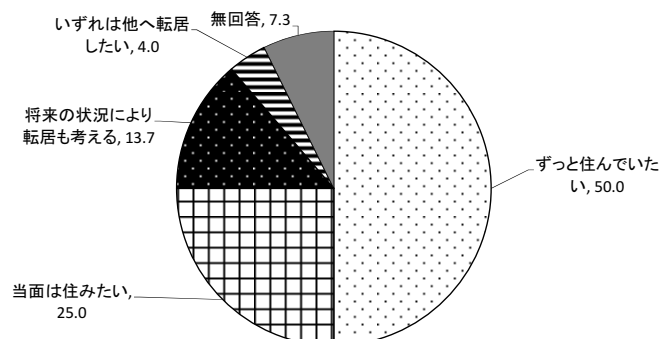
##### ④職業



### (3) アンケート調査結果の概要

#### ① 住みやすさについて

- 住みやすいところ：「自然環境がいい」「のんびりとした雰囲気がある」が多い
- 住みにくいところ：「通勤・買い物に不便」「道路などに基盤整備がまだまだ不備」が多い
- 住みやすさ：「住みやすい」が約7割
- 住み続けたいか：「ずっと住んでいたい」が約5割



#### ② 自然環境・湿原について

- 自然環境の改善：「放棄田を無くすための取り組み」「山の下草刈り・木の伐採をすること」が多い
- あびき湿原：「知らない」という回答が約4割で、「知っている」のうちでは男性の方が多い

#### ③ 農業の課題について

- 農業の課題：「後継者がいない」、「農機具が古くなっても買い替えが難しい」、「稲作だけでは収益が少なすぎる」がやや多い
- 将来の農業：「営農組合など町・地区を超えた集約農業をよりすすめる」という回答が最も多い

#### ④ 結婚・子育て支援について

- 結婚：約1割が未婚の方で、結婚していない理由は「適当な相手にめぐり会えないから」が多い
- 子育て支援：「仕事が終わる夕方まで、地域内で子供を預かり見守ってくれる場所があると良い」「安心して通学できる通学路(道路幅、保安灯、監視カメラ等)を確保して欲しい」が多い

#### ⑤ 高齢者福祉について

- 高齢者福祉：「デイサービス・介護施設など受け入れ施設の増加」「医療機関や買い物などへの送迎体制(タクシー的なボランティア組織)」「高齢者がいきいき活動できる場所の提供(グランドゴルフ 交流サロン 趣味の会 いきいき委員会活動など)」が多い

## ⑥「ふるさとづくり」のための地域資源について

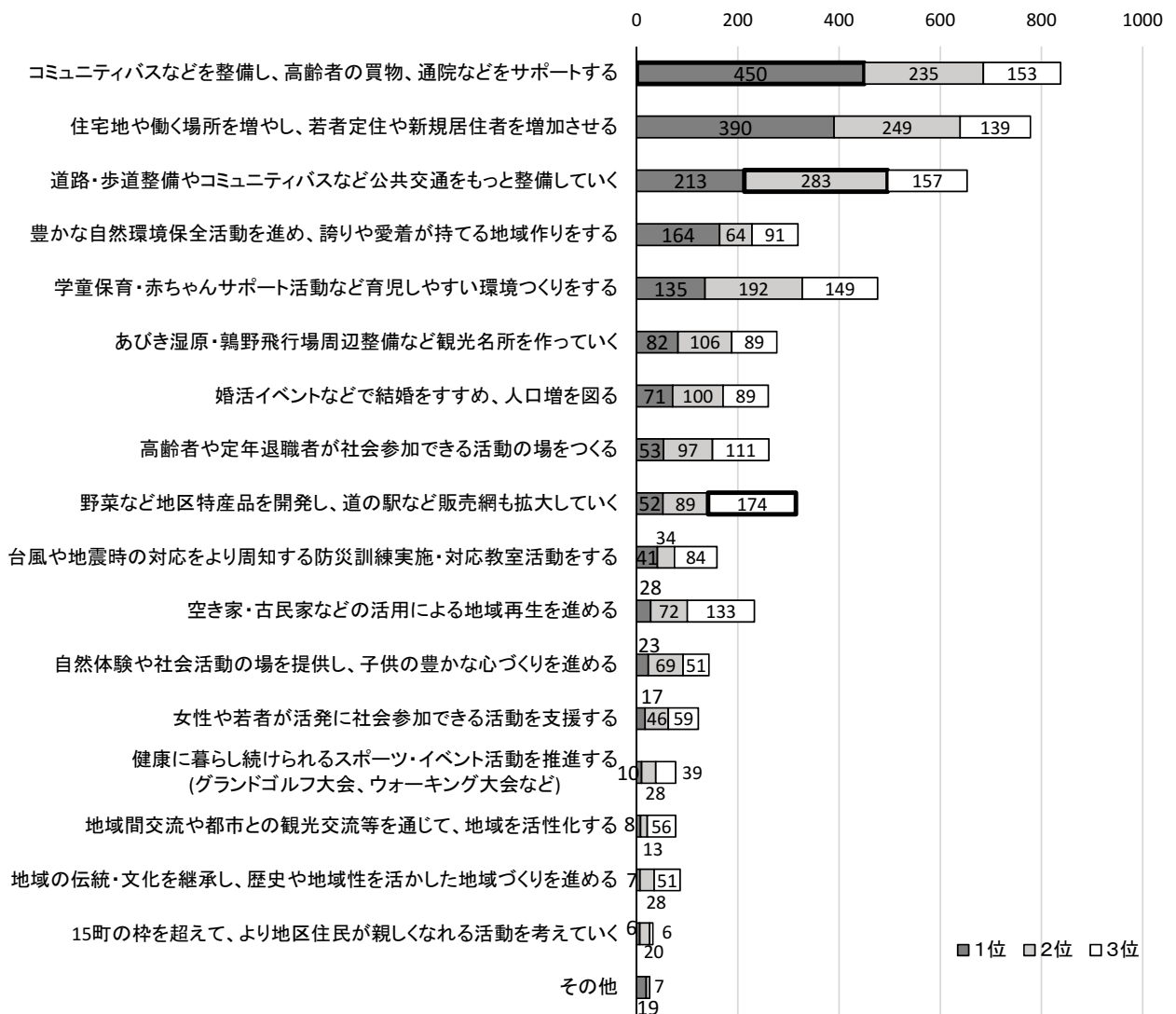
■特に活用すればいいと思われるもの：「鶉野飛行場・防空壕など戦争遺跡」が突出して多い

順位	地域資源	回答数
1位	鶉野飛行場・防空壕など戦争遺跡	1160
2位	桑原田町のぶどう・野菜	636
3位	おぎはら神社(繁昌天神宮)	562
4位	播磨中央自転車道	542
5位	あびき湿原	537

(地域資源選択肢全 28 件)

## ⑦地域づくりのために特に重要なこと

- 「コミュニティバスなどを整備し、高齢者の買物、通院などをサポートする」「住宅地や働く場所を増やし、若者定住や新規居住者を増加させる」「道路・歩道整備やコミュニティバスなど公共交通をもっと整備していく」が多い
- 「野菜など地区特産品を開発し、道の駅など販売網も拡大していく」は、1位にはあまり選ばれていないが、3位の件数が多く重要性は低いものの関心が高いといえる



太枠は各順位において最も多いもの

## 2) 円卓会議 (H27.12.16)

ここでは、今後の九会地区の取組みについて、参加者から頂いた意見の概要を整理します。

### (1) 円卓会議の概要

◇目的	: 九会地区ふるさと創造会議の指針とすべき取組みの方向性、対応策を検討するための資料とします。 参加者等へ地区活動への理解と、地区活動への参加意識の醸成を図ります。
◇対象	: 九会地区のみなさん等
◇実施日時	: 平成 27 年 12 月 16 日 (水) 19:30~21:30
◇開催場所	: JA 加西支店 3 階大会議場 (中野町)
◇参加者	: 65 人
◇検討分野	: 5 分野 (①自然環境、②生活環境、③福祉・子育て、④農業振興、⑤歴史・文化振興)

### (2) 円卓会議の結果概要

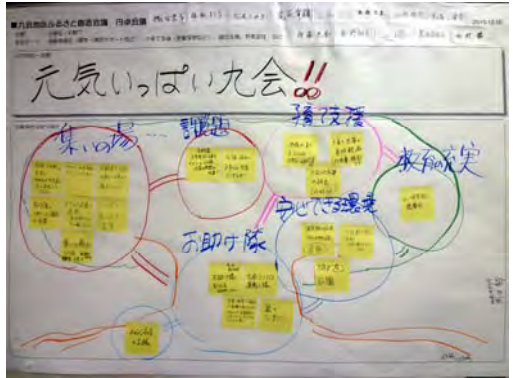
#### ①自然環境

主な意見	作業シート
<p><b>■次世代につなぐ自然との共生を目指す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然環境の調査・維持保全活動</li> <li>・ 昔の自然環境の回復</li> <li>・ 子どもを対象とした環境学習</li> <li>・ あびき湿原の観察会</li> <li>・ 「小川の森」等にホタルを増やす</li> <li>・ 「冒険の森」を活かした自然とのふれあい体験</li> <li>・ 里山等の草刈りなど適切な管理</li> <li>・ 不法投棄の防止による環境保護</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	


#### ②生活環境

主な意見	作業シート
<p><b>■地区のあるべき生活環境を維持</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区内の公共交通の確保</li> <li>・ 河川堤防の整備など大雨時の浸水対策</li> <li>・ 消防団員の減少に伴う組織整備</li> <li>・ 防犯カメラの設置、見守りなど防犯体制の確立</li> <li>・ スーパー、コンビニなど生活利便施設の充実</li> <li>・ スーパー、コンビニと地区との連携</li> <li>・ 移動販売車の新設</li> <li>・ 企業誘致の検討</li> <li>・ 通学路の安全確保</li> <li>・ アクセス道路、飛行場内の交差点改良等の道路整備</li> <li>・ 国道 372 号バイパスの早期事業化</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	


③福祉・子育て

主な意見	作業シート
<p><b>■元気いっぱい九会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者・子育て世代・子どもなどの集いの場の創出</li> <li>・気軽に立ち寄れる場所づくり</li> <li>・地区での子育て支援など子育て世代の負担軽減</li> <li>・小・中学校の統廃合による教育の充実</li> <li>・通学路の幅員拡幅</li> <li>・学校登校時の見守り</li> <li>・買い物・習い事・運転・生きがい等を支援する「お助け隊」を結成</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	

④農業振興

主な意見	作業シート
<p><b>■農業は地域を守る最後の砦</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品のブランド化・PR などにより収益の向上</li> <li>・販売ルート（道の駅を作る）の確保</li> <li>・農業経営環境の向上（組織の形成）</li> <li>・地域を越えた組織・営農の展開</li> <li>・農業の担い手・後継者づくり</li> <li>・若年層が入りやすい環境づくり</li> <li>・イノシシ・シカ対策</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	

⑤歴史・文化振興

主な意見	作業シート
<p><b>■地域の伝統文化の継承と空き家・遊休（農）地の活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鶉野飛行場跡の活用（例：老人・育児の複合施設、道の駅、企業施設、多目的芝生広場、熱気球大会等のイベントに活用）</li> <li>・ウォーキングなどサイクリングロードの活用</li> <li>・観光地のボランティアガイド</li> <li>・九会地区の歴史文化の情報整理と PR</li> <li>・空き家の調査と利活用促進</li> <li>・空き家マップづくり</li> <li>・遊休地の利活用</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	



### 3. 上位・関連計画

ここでは、加西市で策定されている各種計画の抜粋を整理します。

#### 1) 第5次加西市総合計画（H23.10 策定）

構成と目標年次	基本構想 目標年次：平成32年度
基本目標	加西の元気力 ～加西の良さを活かした元気力の追求～
基本政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人づくりの視点：子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西</li> <li>・産業の視点：雇用と経済が元気を取り戻す加西</li> <li>・暮らしの視点：誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西</li> <li>・環境の視点：地球に優しい環境都市加西</li> <li>・パートナーシップによる地域経営</li> </ul>
土地利用構想	土地利用の基本方針 ①「定住促進が可能な土地利用」 ②「日常生活に便利な土地利用」 ③「自然と共生したゆとりある土地利用」

#### 2) 加西市地域創生戦略(H27.10 策定)

施策	<p><b>【新規】新たな土地区画整理事業等の推進&lt;重点施策&gt;</b>          中野地区の市街化区域において土地区画整理事業等で土地利用を推進し、九会小学校区における住宅地等の整備と確保を行う。  <b>評価指標(KPI)</b> 住宅戸数 70 戸</p> <p><b>【新規】鶉野飛行場跡地周辺の整備&lt;重点施策&gt;</b>          鶉野飛行場跡地及び周囲の戦争遺産を一体的に観光整備し、市内外観光客と地域住民との交流の場を創出する。  <b>評価指標(KPI)</b> 観光誘客年間数 16,000 人</p> <p><b>【新規】北条鉄道の利用促進</b>          北条鉄道各駅へのアクセスをコミュニティバス等で確保し、公共交通ネットワークを構築する。利便性を高めるため、コミュニティバス等の運賃割引等利用促進策を講じるとともに、列車増発可能な設備等の拡充を図る。  <b>評価指標(KPI)</b> 北条鉄道年間輸送人員数 380 千人</p> <p><b>【継続】ふるさと創造会議の取組み支援等</b>          コミュニティ活動の単位となる11小学校校区ごとに、住民主体のまちづくり組織として立ち上げている「ふるさと創造会議」の円滑な運営、事業実施のための助言及び情報提供等の支援を実施するほか、地域の様々な活動を支える中間支援組織や人材の育成を図る。  <b>評価指標(KPI)</b> ふるさと創造会議設立数 11 地区</p>
----	--

※九会地区に関連するものを抜粋

### 3) 第3次加西市国土利用計画(H24.3 策定)

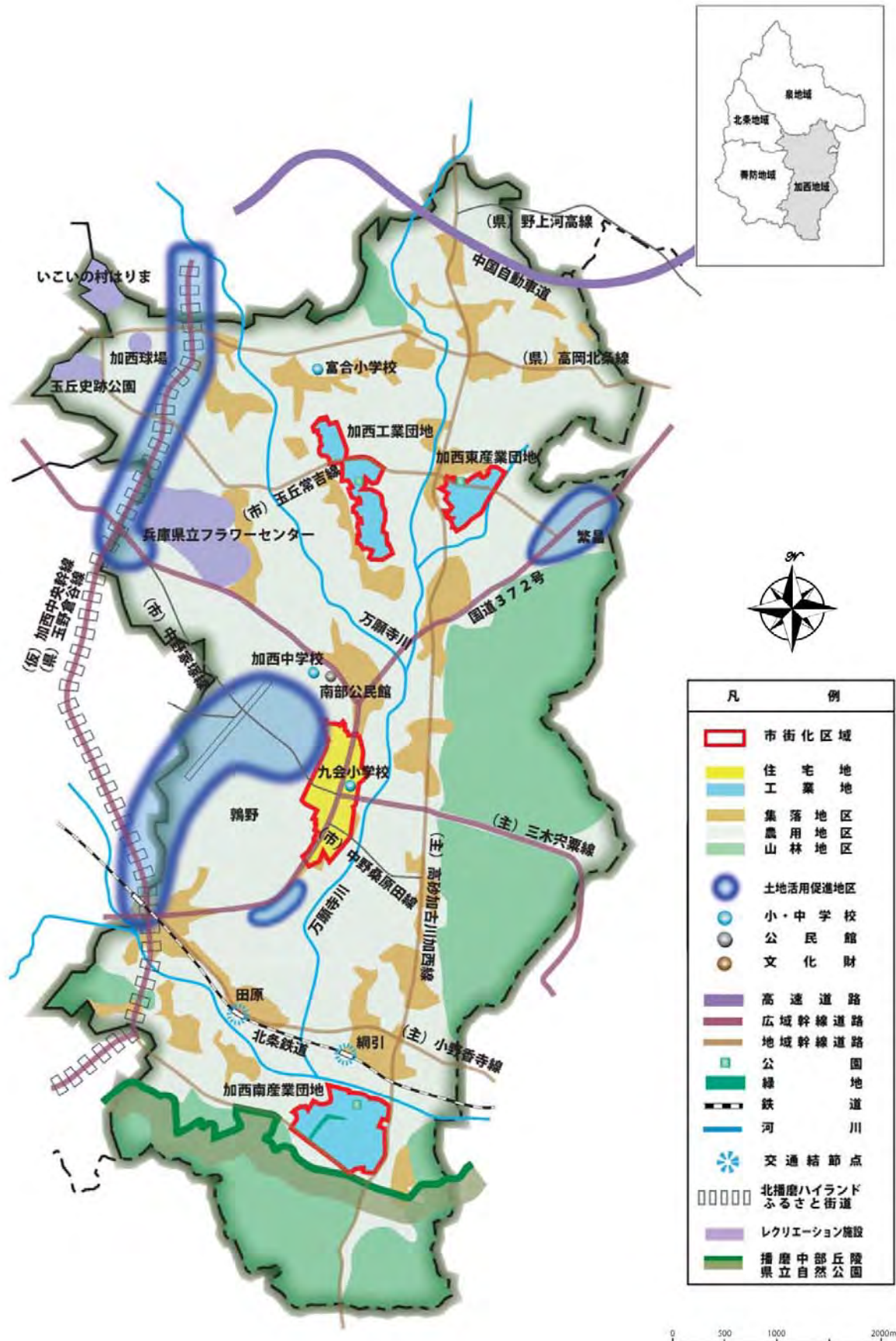
基本理念	公共の福祉を優先させ、地域が主体となって引き継いできた豊かな自然や歴史遺産の保全と活用を図りつつ、健康で文化的な生活環境の確保と活力ある都市の発展を図る
基本方針	①質的向上をめざした土地利用 ②有効かつ適正な土地利用 ③総合的な土地経営
地域別の概要 (加西地域)	<p>加西地域は、市南東部に位置し、加東市、小野市と接する東側には、緩やかな丘陵地が南北に広がり、その中央に陸上自衛隊青野原駐屯地が配置されています。</p> <p>この地域は播磨内陸部最大の平坦地を形成し、広大な敷地を持つ産業団地や農業研究施設、観光施設が点在することから、農業分野をはじめとする各分野の産学官連携を強化するとともに、フラワーセンターとその周辺の活用等、関係機関の連携を深めた観光資源、産業資源の活用を進めます。</p> <p>鷓野飛行場跡地周辺の土地活用促進地区は、地元の意向を十分に反映させた地区計画の誘導によって、計画的に整備された産業団地や住宅地、新エネルギーの開発適地として環境や景観、歴史遺産の活用に配慮した整備を進めます。</p> <p>また、中野地区は、低・未利用地の有効活用等、市街地の充実に努めるとともに、歩行者の安全性を高めた道路環境を改善します。国道 372 号沿いの土地利用を進め、繁昌地区に位置する既存工場等集積地区については、工業系土地利用の計画的な整備と充実を図ります。</p>

### 4) 加西市都市計画マスタープラン(H24.3 策定)

まちづくりのテーマ	「地域の絆」と「活力・交流」に満ちたふるさと 『加西』
まちづくりの目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人や産業が集まる活力のあるまちづくり</li> <li>・自然や歴史を大切にす環境にやさしいまちづくり</li> <li>・交通ネットワークに支えられた便利なまちづくり</li> <li>・地域の絆で創る安全・安心・快適に暮らせるまち</li> </ul>
地域別構想 (加西地域)	<p>まちづくりのテーマ</p> <p>『産業振興と連携した活力あるまちづくり』</p>



■加西市都市計画マスタープラン【地域別構想：加西地域】（まちづくり方針図）



## 4. まちづくりの課題

ここでは、「九会地区の現況」、「地区住民のまちづくりに対する意向」、「上位・関連計画」を踏まえ、まちづくりの課題を整理します。

### 1) 安全・安心な生活環境の創出

人口減少、少子・高齢化社会を迎える中で、スーパーなど生活に必要な利便施設やデイサービス・介護施設などの福祉施設を求める意見や施設への移動手段の確保などを求める意見が多く聞かれます。また、子どもを生き安全に安心して育てられる子育て環境の整備や世代間の交流の充実などの支援も求められています。

今後、少子・高齢化は、ますます進むと予測されるため、少子・高齢化社会を踏まえた上で、安全で快適な生活環境を維持する必要があります。

#### ◇主要な課題

- ①コミュニティバスなど地区内の公共交通の確保
- ②スーパーなど生活利便施設の充実
- ③アクセス道路の整備や通学路などの安全対策
- ④子どもの預かり・見守りなど子育て支援
- ⑤大雨時の浸水対策など防災対策
- ⑥世代を超えて集まれる場の確保や世代間交流の促進

### 2) 地域資源の保全と有効活用

九会地区内には、第2次世界大戦時の鶉野飛行場跡、防空壕跡などの歴史的遺産や兵庫県最大規模の湿地である「あびき湿原」などの自然環境など特徴的な地域資源を数多く有しています。また、地区内の伝統的な祭り、ぶどうなどの農産物なども地域資源としてあげられます。

しかし、これら地域資源は、地域固有の魅力ですが、地区内外への周知やPRは十分とは言えません。

そのため、今後は、地域資源を保全し、活かしながら地区の魅力を発信し、地区内外の交流促進による人と人のつながりや定住人口の増加につなげていくことが必要です。

#### ◇主要な課題

- ①鶉野飛行場跡の活用
- ②野菜など地区の特産品の開発・販売
- ③あびき湿原の環境保全・PR
- ④歴史・文化・伝統の継承

### 3) 農業環境の改善

九会地区には、農地も多く、稲作をはじめ、ぶどうや野菜も盛んに栽培されていますが、収益性の低さや高齢化等により、農業の担い手が不足しており、地区内には遊休地も見られます。

そのため、今後は、若い世代が農業に意欲的に取り組めるよう組織的な営農体制の確保や農業機械の共有化など農業環境の改善が必要です。

#### ◇主要な課題

- ①地域を越えた営農体制の確立
- ②遊休地の利活用
- ③特産品開発・地区ブランドの育成
- ④販売ルートの確保

### 4) まちづくりに対する住民の関心と参加意欲の向上

従来、まちづくりの主体は行政が中心でしたが、まちづくりへの住民の意識の高まりなどを受けて、住民はもとより住民、企業、各種団体など様々な主体が関わるようになってきました。

しかし、九会地区においては、地区の活動への関心は低く、特に若い世代の参加が多くない状況です。

そのため、今後、特に地区を担う若い世代に地区活動に参加してもらえるよう活動の理解と協力を求めるとともに、住民、企業、各種団体等が適切な役割分担の下、相互に連携する協働のまちづくりが必要です。

#### ◇主要な課題

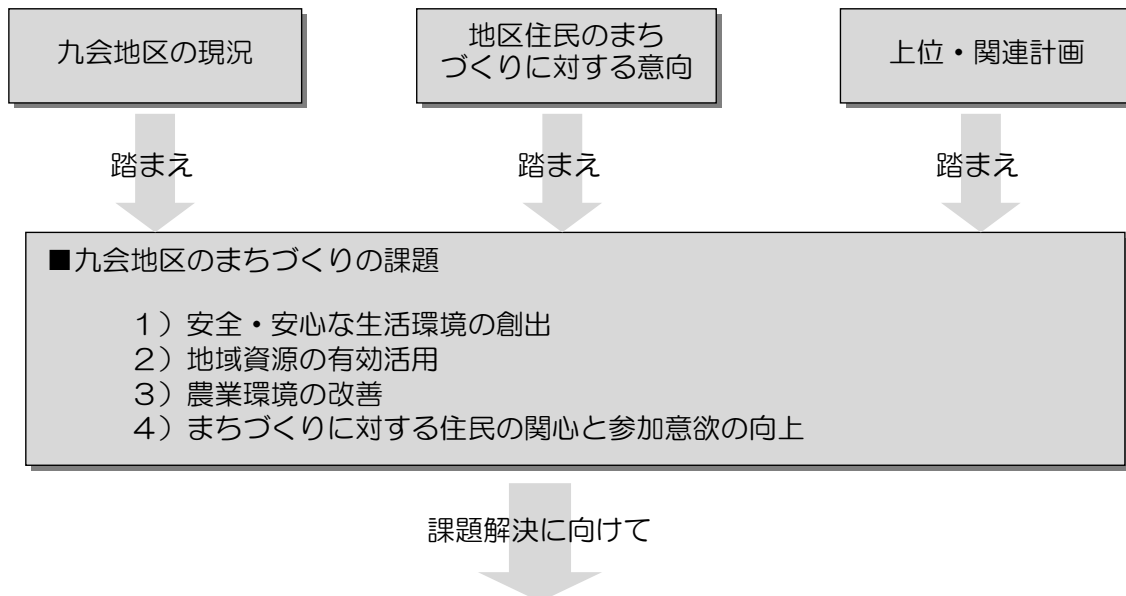
- ①地区活動の周知と理解の促進
- ②地区活動組織の充実
- ③地区活動への参加促進
- ④住民・企業・各種団体の多様な主体の協力

## 第2章 九会地区が目指す将来像

### 1. まちづくりのテーマと基本方針

#### 1) まちづくりのテーマ

九会地区の目指すまちづくりのテーマを次のように設定します。



【九会地区のまちづくりのテーマ】

安心して暮らせる 元気いっぱい輝くふるさと  
～九会の歴史と伝統の継承を目指して～

九会地区では、住みやすく安心して暮らせるまちを目指し、住民、行政、企業、各種団体などが相互に助け合い、支え合う組織・仕組みを構築し、九会地区で受け継がれる歴史・文化の継承を基盤としながら、地区で考え、地区自らが中心となり、まちづくりを進めていきます。

## 2) まちづくりの基本方針

九会地区では、まちづくりのテーマである「安心して暮らせる 元気いっぱい輝くふるさと ～九会の歴史と伝統の継承を目指して～」の実現に向けて、下記に示す5つの分野ごとにまちづくりの将来目標と基本方針を掲げ、まちづくりに取り組んでいきます。

### (1) 生活環境

将来目標	誰もが安全で安心できるまちづくり
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●商業、福祉など生活に必要な利便施設の充実を目指し、各種関係機関との協力体制づくりを進めます。</li> <li>●道路整備や通学路の安全対策、防災対策など生活の安全確保に向けた活動を進めます。</li> </ul>

### (2) 福祉・子育て

将来目標	みんなで支える、人にやさしいまちづくり
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもからお年寄りまで地域住民の健康維持に努め、元気に暮らすことができる環境づくりを進めます。</li> <li>●地域で安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。</li> </ul>

### (3) 歴史・文化振興

将来目標	歴史と文化を守り育て心ふれあうまちづくり
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域内の伝統行事やイベントを通じて、人と人とのつながりを保ち、共に支え共に取り組む機運を高めていきます。</li> <li>●地域の伝統文化や地元食材などの地域資源を地域外へPRし、地域内へ人を呼び込む取り組みを進めます</li> </ul>

### (4) 自然環境

将来目標	豊かな自然を守り、次世代につなぐまちづくり
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●あびき湿原など魅力ある自然環境の維持保全に向けた活動を進めます。</li> <li>●子どもを対象とした環境学習など次世代につなぐ自然との共生を進めます。</li> </ul>

### (5) 農業振興

将来目標	農地を守り農業を育てるまちづくり
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●野菜などの地域食材を活かし、九会地区の特産品開発を進めていきます。</li> <li>●農業の担い手・後継者を育成し、継続可能な営農体制に向けた取組を進めます。</li> </ul>

## 第3章 これから進める主な活動

### 1. 各分野別の主な活動

今後取組んでいく主な活動は、各分野別の将来目標や基本方針に沿った形で、合同部会（平成28年4月～7月の計4回）にて検討・整理し、現在実施している事業も含め、以下に示します。

#### 1) 生活環境

	活動目的	活動概要	実施状況等
①	公共交通（コミバス等）の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミバスなど公共交通の他都市の事例を、行政と協働のもと国内外問わず収集し、アンケート調査等を実施します。</li> <li>・事例・調査結果を踏まえ、コミバスの増便や路線バスの充実等、九会地区に適した公共交通の仕組みを検討します。</li> </ul>	中・長期 取組
②	鶉野飛行場跡地の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶉野飛行場跡地周辺や繁昌町、上宮木町の万願寺川、普光寺川沿川へ、地域自らの手で桜の植樹を行い、「九会の桜回廊」としての整備を進めます。</li> <li>・今後の鶉野飛行場跡地の整備については、行政と地区の協働のもと、適切な情報発信を行います。</li> </ul>	中・長期 取組
③	河川堤防の維持管理（保全）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万願寺川、普光寺川をきれいに守ることを九会地区の方針として考え、町単位で環境保全に努めます。</li> <li>・災害のリスクを低減するため、河川内の土砂の取り除きを行政に依頼します。</li> <li>・河川堤防の維持管理として、ボランティアを募り、堤防法面の草刈りなどを行います。</li> </ul>	中・長期 取組
④	防犯体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪の抑止力として、地区で設置が必要な箇所に防犯カメラの設置を検討します。</li> </ul>	中期 取組
⑤	遊休地の利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊休地の情報を自治会等から収集し、新たな住宅地としての活用など地区の活性化に寄与する遊休地の有効活用について、行政とともに検討します。</li> </ul> <p>【農業振興と協働】</p>	中・長期 取組

## 2) 福祉・子育て

	活動目的	活動概要	実施状況等
①	高齢者の元気づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>各町民生委員や老人会が中心となり、月数回、高齢者同士、高齢者と子ども達がふれあう場として、サロン喫茶などの開催を検討します。</li> <li>各町民生委員、老人会、有志等が中心となり、子どもも楽しい、高齢者も元気になれるイベントとして、芋ほり、いちご狩りなど年数回の実施を検討します。</li> </ul>	短・中期 取組
②		<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきサロンの中での 100 円喫茶や「赤ちゃん先生」のイベントを通じて、高齢者など参加者の元気づくりにつなげます。</li> </ul>	短期 取組
③		<ul style="list-style-type: none"> <li>九会地区全町をまわり、高齢者を対象とした DVD コンサートを開催することで、高齢者の元気づくりにつなげます。</li> </ul>	実施中
④	若者定住	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食費を無料にするなど、若い世代の定住を促す施策を検討します。</li> </ul>	中・長期 取組
⑤	通学路の安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学時の児童の安全の為、通学の時間に合わせた高齢者ウォーキングにより地区での見守りを行います。</li> <li>通学路の安全確保のため、道路整備、区画線や標識などの日常の適切な維持管理を行政に依頼していきます。</li> <li>【生活環境と協働】</li> <li>通学路の草刈りなど地区でできることは、地区で検討し進めていきます。</li> <li>【生活環境と協働】</li> </ul>	中・長期 取組
⑥	学童保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間のある高齢者の方に、学童保育の補助をしてもらうなど、子育ての支援を検討します。</li> </ul>	中期 取組
⑦	若者ふれあいイベント支援 (出会いの場づくり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>九会小学校の卒業生を対象とした同窓会を開催するなど地区内での出会いの場を創出します。</li> </ul>	短期 取組

### 3) 歴史・文化振興

	活動目的	活動概要	実施状況等
①	地区の歴史の理解と継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九会の名所・史跡探訪、ええところマップを活用・深化（古文書等の整理、町の歴史の語り部など）し、また、新たな情報も追加しながら、地区の歴史の理解と継承を進めます。</li> <li>・地区の歴史に気づき、興味を持ってもらえるよう歴史講座、史跡探訪ツアー、九会歴史検定などの開催を検討します。</li> </ul>	短・中・長期取組
②	15 町の自然と文化を体感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども太鼓など伝統行事等の地区内の相互支援を行います。</li> <li>・九会の歴史を見て体感できる九会ふるさと館の設立を検討します。</li> <li>・地区の特徴的な歴史資源である鶉野飛行場関連施設の活用（ライトアップなど）を検討します。</li> </ul>	中・長期取組
③	住民の健康推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民が気軽に健康づくりを進められるように、ウォーキングコースの設定とマップの作成を検討します。</li> <li>・播磨中央自転車道の活用について検討します。</li> </ul>	短期取組
④	観光名所づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区外の方に広く地区の魅力に触れてもらうために、北条鉄道や名所・旧跡探訪を活用しながら、観光周遊コースの策定を進めます。</li> </ul>	短期取組
⑤	親子スポーツ交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内に整備された播磨中央自転車道（サイクリングコース）を活かし、年1回、親と子によるサイクリングを実施します。</li> </ul>	実施中

### 4) 自然環境

	活動目的	活動概要	実施状況等
①	あびき湿原の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区にある貴重な自然環境であるあびき湿原を地区内外に広く知ってもらうため、あびき湿原観察会などを通じた PR や保全作業による維持管理を行います。</li> </ul>	実施中
②	小川の森にホタルを飛ばそう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の豊かさや大切さを子ども達に伝えるため、学校関係者との協働のもと、小川の森（九会小）周辺にホタルが生息できる環境の整備を行います。</li> </ul>	実施中
③	夏休みに星を見る会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい夜空を子ども達に見て感じてもらうため、夏休みに親子で星を見る会を開催します。</li> </ul>	実施中 (今年予定)
④	貴重な植物と身近にふれあう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カタクリの花の群生地や周遍寺などの地区の名所旧跡を訪ねるウォーキングを実施します。</li> </ul> <p>【歴史・文化と協働】</p>	実施中



## 5) 農業振興

	活動目的	活動概要	実施状況等
①	農業の担い手・後継者づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政や農業関係者などとの協働のもと、農業経営団体の枠組みや人材確保などへの取り組みを検討していきます。</li> </ul>	中・長期取組
②	若年層が入りやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者の会の組織化、地区での農業実習生の受け入れなど、若年層が農業分野に入りやすい環境を検討します。</li> <li>ブドウの栽培からワインづくりなど色々なアイデアを検討しながら、農業分野の活性化、延いては地区の活性化につなげていきます。</li> </ul>	中・長期取組
③	情報発信と販路の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ等を活用し農業に関する情報を発信するとともに、農業体験等を通じた都市との交流により農業の楽しさをPRします。</li> <li>「農の匠の新聞」を出版することで、農業や農作物についての情報を発信して、九会の直売所やこだわり野菜のアピール等を行っていきます。</li> <li>人通りの多いインターチェンジ周辺、加西SAなどに、直売所を設置又は移動販売を行い、地区の農産物や特産品を販売・PRします。</li> </ul>	中期取組
④	情報収集と意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の九会の農業振興の参考とするため、先進地を訪問し、情報収集と意識啓発を行います。</li> </ul>	短期取組

## 第4章 まちづくりの推進に向けて

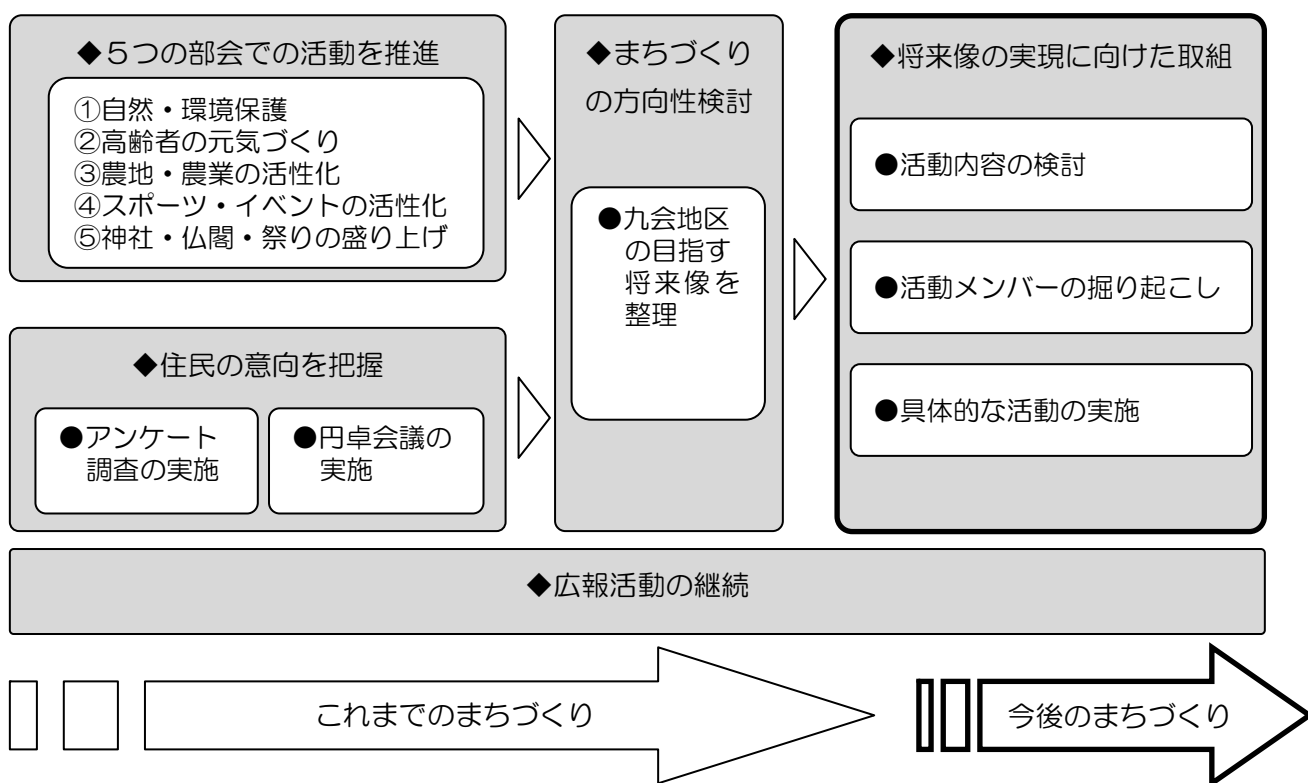
### 1. 今後のまちづくり

九会地区の目指す将来像を実現するためには、各部会を中心とした具体的な活動を進めていく必要があると考えています。

そのため、今後は、第3章で整理したこれから進める主な活動を基本として、活動内容の検討を続けながら、具体的に活動を実施していきます。

また、活動を進める上で、必要となる新たな活動メンバーの掘り起こしも同時に行いながら、みんなでできることから活動を進め、九会地区のみなさんが安心して元気に暮らせる、より良い九会地区にしていきたいと考えています。

#### ■九会地区まちづくりの流れ



### 2. まちづくり計画の見直しについて

「九会地区まちづくり計画」は、九会地区を取り巻く状況の変化に適切に対応するために、5年ごとの見直し検討を行い、常に、時代の潮流や、地域状況の変化等に対応したまちづくりを目指します。